

---

# 紅蓮の菊

擘月 - ka「d/z」uki -

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

紅蓮の菊

### 【Nコード】

N6974J

### 【作者名】

嘩月・k a r d / z r u k i

### 【あらすじ】

.....

黄色い頭振りかざして 示すのは紅  
花瓶に揺れるその姿 枯れてしまえばいい  
その存在は別れを思い出させる

記憶の紅に触れる黄色 叫ぶには十分過ぎた

忘れていたい記憶だけは網膜に焼き付いて  
忘れたくない姿だけは曖昧に霧がかかつて  
忘れていた自分の弱さに気付いて喚いた

悲惨に咲いた姿 ゆらゆらと揺らめく視界  
崩れ落ちる体と姿

不様な赤い糸千切れ 姿から紅い雫流れ 理由も無く空に叫んだ

蟲の喰らう音が鳴る 蝕まれる光の明日を見る  
波紋も立たない水のように研ぎ澄まされた器官に 世界が魅せつけてく

それでも消えない 姿

忘れた言葉 今更だから 風に掻き消されて無表情  
あの日々全て忘れ 苦しいと跳ねる鼓動と脳を失くした

「咲く」

思い描いた夢は ゆらゆらと揺らめく嘘  
優しいそれに騙されればいい

夢想の赤い糸結ぶ 美しい姿が見える 形も無いそれに微笑んだ

人の笑う音が鳴る 蝕まれる人の明日を見る

誰彼が指差し哀しい瞳で観る先には 二人を映し出す

「裂く」

それに騙されず 別れる華と嘘

狂う事も出来ない ただ鬱羅鬱羅と想い帰す  
揺れる体 焼き付く姿 恐怖に打ちのめされ 紅蓮の華が脳に咲き  
乱れる

朽ちゆく日を待つ

瞳の華と脳の華  
誤作動神経が写す醜き華

紅蓮の菊揺らめく  
ゆらゆら……

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6974j/>

---

紅蓮の菊

2011年1月27日03時29分発行